

# 第2期（2017年度）事業報告

## 1. 法人運営

### 2017年度の活動

日程	活動内容
毎月	清水沢まちあるき
4月8日・9日	栗山町田舎まつり出店（夕張JC依頼）
4月29日	イルミネーション撤収
4月30日	こども食堂開始
5月6日・7日	ゆうぱりマーケット出店
5月21日	宮前町お祭り
6月～10月	清水沢アートパワープラント
6月17日	定時社員総会
7月	毛利悠子滞在
7月・9月	劇団青年団リンク ホエイ滞在
7月	シニアフォトキャラバン滞在
7月8日・23日	ズリ山整備・さつき町内会園遊会
8月～10月	北川陽稔アトリエ利用
9月～10月	菊池史子滞在
10月7～9日	紅葉まつり旧滝ノ上発電所公開で展示
10月17日	臨時社員総会、18日より非営利型法人へ移行
10月25・26日／28・29日	JR北海道「夕張まちもの語り」ツアー
11月～12月	桑原真理子滞在
12月3日・20日	宮前町クリスマスイルミネーション設営・点灯式
12月20日	こども忘年会
1月13日・14日	宮前町新年行事
2月9日～3月4日	企画調査展示「清水沢小学校を記憶する調査室」12日卒業生トークイベント
3月21日～26日	第2回宮文祭
3月31日	「企画調査展示『清水沢小学校を記憶する調査室』を記録する調査報告書」発行

2017年10月18日をもって普通法人から非営利型法人へと移行しました。昨年度の定時社員総会で必要要件のすべてを満たすことができず、10月17日に臨時社員総会を電磁的記録方式によって開催して定款の再変更を行い、翌日岩見沢税務署で手続きを行いました。皆様には臨時社員総会の開催にあたり多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。

本年度は受託事業がなく、大幅な赤字が当初から予想されました。収益は、助成金・売上ともに計画を大幅に上回ることができましたが、外注費や報酬などで予算を大幅に上回ってしまいました。理由は、助成金事業のために(株)YUBARIへの外注を行なったこと、非営利活動法人に移行したことで決算が1回増え、税理士報酬がかかったことが挙げられます。ただしYUBARIとの連携は、発注したWEB制作・記録映像制作だけでなく、広報にも多大なメリットが生じています。

村上事務局長は本年度から非常勤となり、理事として主に経理事務などをお願いしています。観光振興担当の地域おこし協力隊として多忙でありながらも、市役所関係との連絡にも一役買ってくれています。村上事務局長への給与は、税理士からの指摘により役員報酬として支払っています。本来役員報酬は総会での決議事項ですが、前期の社員総会で給与金額を報告しているため、そのまま移行するものとなりました。

非営利型法人に移行したことを機に、一般社団法人の税務に詳しい山田一成税理士（東京都足立区）と顧問契約を行いました。クラウド型経理ソフトを導入したことで、複雑化した経理作業が軽減され、お金の動きを把握しやすくなりました。

夕張市黄色いハンカチ基金助成として、大地コンサルタント株式会社からの用途指定寄付（30万円）をいただき、清水沢コミュニティゲートの運営に使いました。そのほか、北海道ろうきん社会貢献助成（15万円）を人件費や活動費として、またほっかいどう遺産WAON助成（35万円）により「地域の記憶を記憶する」事業を実施しました。

## 各事業の報告

### (1) 炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業

---

#### 発電所

---

旧発電所公開事業は、2018年度以降の有料化を視野に公開事業を行い、約1,000名の来場者がありました。北海道企業局清水沢発電所工事の関係で、何度も駐車場からのアプローチが変わり、所有者の東亜建材工業さんと企業局と連絡を取りながら進めました。公開期間終了間際の10月の土曜日は、コスプレ撮影を含め見学者が殺到したため、スタッフを配置して受付と誘導に当たりました。

#### ズリ山

---

例年通り、7月8日に清栄町さつき町内会に依頼し草刈り作業を行い、その後23日に清水沢プロジェクトメンバーとシニアフォトキャラバンで整備作業を行い、清栄町さつき町内会の園遊会に参加しました。

#### 清水沢駅展覧会

---

当初8月頃の展示替えを予定していましたが、「清水沢駅の思い出展」が駅を訪れた方に好評ということもあり、実施しませんでした。

## その他の炭鉱遺産・関係箇所

---

旧北炭清水沢炭鉱事務所所有者の（株）セキモクへのアプローチを行うことができませんでした。石炭博物館との連携は、今年も行うことができませんでした。

## 観光ガイド（収益事業）、調査・研究・視察アテンド（非収益事業）

---

個人から団体まで、炭鉱遺産・地域事情のガイドや視察受け入れを多く実施しました。清水沢プロジェクトのホームページからの直接申し込みのほか、夕張市ホームページや市役所からの紹介による問い合わせも多くありました。旅行会社と提携していないため、夕張を訪れる修学旅行など教育旅行のバスに乗り乗るガイドは行っていませんが、大学生以上のフィールドワーク・行政視察・研究者・芸術家からの依頼によるアテンドを多く行いました。

地域のストーリーをエコミュージアムとして提示する活動を行っていることが評価され、JR北海道の企画旅行「夕張まちもの語り」の企画から当日の「語り人」としてガイドを行うまで、ツアー完成に深く関与しました。2日程とも満席で、これまで出会うことがなかった団体旅行購買層のお客様と出会うことができました。また旅行会社に対し商品としてプログラムを販売するノウハウも得ることができました。

多くのお客様を受け入れる中で、清水沢・南部・鹿島地区のトイレの少なさを実感したため、清水沢プロジェクトの団体では、トイレ休憩としてコミュニティゲートを使うようになりました。

## 企画調査展示『清水沢小学校を記憶する調査室』

---

ほっかいどう遺産WAON助成金事業の一つで、旧清水沢小学校の解体を記録し、記憶を集めるための展示として、2月9日～3月4日の間の金土日祝13日間、清水沢コミュニティゲートで実施しました。清水沢プロジェクト主催の企画展をコミュニティゲートで行うのは、初めての試みでした。

本展は、来場者の方から聞き取った記憶を展示物として増やしていくというやり方で、調査する行為そのものを展示しました。小学校の思い出を語るときは、誰もが自分が主人公になります。一人ひとりにスポットライトを当てること、清水沢小学校を鏡に果たして自分の地域はどうであったかを考えることを、本展のテーマとして設定しました。本展来場者は70名ほどでしたが、1～2時間滞在するなど、一人あたりの滞在時間が長かったのが特徴といえます。

2月11日には、宮前集会所を借り、卒業生である上木和正さんと櫻井暁さん父娘のトークイベントを開催しました。

本展終了後、展示内容をまとめた図録として、「企画調査展示『清水沢小学校を記憶する調査室』を記録する調査報告書」を発行しました。印刷は、3月末で閉業する久保田総合印刷に依頼しました。1ヶ月ほどで初版久保田総合印刷版は完売し、現在は第二刷を販売中です。

展覧会は当初計画していなかったものですが、本展は清水沢駅の次回展示の展示物収集の目的も兼ねて、実施しました。

## (2) 地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業

---

ほっかいどう遺産WAON助成金事業の一つとして、「みんなで作る夕張の記憶ミュージアム」プロジェクトを実施しました。本プロジェクトは、さまざまな人々が持つ過去の夕張の記憶、現在の夕張の記録をさまざまな形で集めることで、人々がつながっていく仕組みをつくります。

本年度はフェイスブックページとホームページを作成しました。フェイスブックページでは、自宅で長い間眠っていたような写真を集め、夕張の記録として保存するだけでなく、それらの記憶をみんなで共有することで、人々のつながりを作ることが目的です。一方でホームページは、それら投稿された写真のほか、さまざまな方法で収集した写真を始めとする資料を、保存・活用するために記録するサイト（アーカイブサイト）としています。制作は（株）YUBARIに依頼しました。

寄せられた資料は、夕張の共有財産としてデジタル上でアーカイブし、「すべての希望する人に利用していただけるようにする」ことを目標とします。当プロジェクトが所有権を主張するのではなく、最終的に夕張市石炭博物館などのしかるべき機関が構築するシステムに接続される状態を目指します。

## (3) 炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業

---

事業の大きな柱である「清水沢コミュニティゲート」の運営は、前年度に夕張市と締結した「清水沢エコミュージアムプロジェクトに係る連携協定」の二年度目となり、「旧宮コ23棟」施設の無償貸与を受け、継続して運営を行いました。

前年度大きな割合を占めた除雪・灯油代の節約が大きな課題となりました。除雪については当初は業者に依頼せず、人力でなんとか行っていました。12月中旬より清栄町の八幡石材店が御厚意で除雪に入ってくれることになりました。八幡さんが入院中は近所の三上さんが除雪機を出してくれるなど、近隣の方々や会員の皆様に支えられていることを実感しました。

灯油代については、冬季間の施設利用料金に暖房使用料として一日540円加算することにしました。普段は暖房をつけず部屋凍結させ、使用の都度解凍する方法を習得したので、凍結予防のための暖房使用を行うことなく冬を越し、合わせて20万円ほどの節約をおこなうことができました。その代わり、一番使用しているはずの4号室で油断し、水道管破断とウォシュレット・コーヒーマーカーを故障させてしまいました。

「みんなのよりどころ」として主に地域の子どもや高齢者に向けた環境整備を行いたいと考え、まず子供向けに金曜日の1号室開放を行いました。近所の子供達が4～5人不定期でやってきましたが、対応できない日も多くなり、1学期だけで挫折してしまいました。場所の分かりづらさと見目が家という入りづらさもあり、開放的な雰囲気ははじめから持ち合わせていないので、無理せず、求めがある都度対応できればいいのではないかと考えています。

一方で、4月からこども食堂を始めたこともあり、月に一度、日常的に子供の声が響く場所になってきました。「こども食堂の場所」として子供や子育て世代に認知が広がったことは、非常に大きなメリットがありました。また、定例開催により固定収入の確保に繋がりました。

また、子どもたちが不注意で壁を壊したり、スズメが換気口に巣を作ったり、予想していないことも起こりました。

4月より開館時間を変更しましたが、あまり影響はありませんでした。スタッフが常駐しなくなったこともあり、電話転送、モニターカメラ、宅配ボックス、キーボックスの設置などを行い、不在が多いデメリットの解消に努めました。

会員サービスの拡充として1号室の使用度を高めることを計画しましたが、あまり需要がありませんでした。しかし、3号室などで定期的な飲み会が開催されています。

(株) YUBARIに11月からオフィス利用として4号室2階に入居していただきました。しかし、冬場の寒さが大変なようで、常時利用には至っていません。これに合わせて4号室の電気のアンペア数を20Aから30Aに変更しました。

喫茶店営業については台所の洗い場の形状が難しいため、実現できないことがわかりました。必要があれば、その都度臨時営業許可を取るつもりです。

簡易宿泊業は検討の結果、時期尚早と考えました。最も大きな理由は、不特定多数を地域に入れることは本施設の趣旨から外れるためです。しかし合宿などで来夕する大学などに勧めたいという夕張市の意向もあり、今年度以降、市と話し合ってもう一度検討する予定です。

#### **(4) (1)～(3)各号に関する活動を目的とした来訪者の受け入れ、情報提供、支援に関する事業**

---

サインや案内板は、目印となるのぼりの設置にとどまりました。「石炭の道」ルートの可視化は、案内付きでないとう理解が難しいこと、不用意に歩き回られるのを防ぐという2つの理由により、引き続き検討を行いたいと考えています。宮前浴場の前の案内パネルの設置は急ぎます。

現行のパンフレットは、増刷のタイミングで内容の取捨選択を行い、改定します。

夕張の炭鉱について学ぶことができる小冊子は、清水沢小学校の調査室展を優先したため、制作には至りませんでした。

#### **(5) 地域活動の活性化支援事業**

---

本年度も町内会事業への参加を行い、クリスマスイルミネーションの設置作業などを行いました。2015年から使用していた集会所のインターネットは、2017年度末をもって終了しました。

#### **(6) 地域情報の受発信、物販に関する事業**

---

石炭アクセサリーの制作・販売を新たに行いました。当初「ゆうばりマーケット」などで販売していましたが、11月にオープンしたYubari craft & goodsに参加している作家さんに制作を委託することになり、現在は手数料2割でお願いしています。またYubari craft & goodsでは、清水沢プロジェクトのポストカードや当法人で委託販売を受けている三菱大夕張鉄道のグッズ類なども再委託して販売いただいています。ポストカードは1種類増やし、2種類としました。

#### **(8) 地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業**

---

観光目的ではない行政視察などを受け、実施しました。

# 第2期（2017年度）決算

## 貸借対照表

(平成30年3月31日 現在)

一般社団法人清水沢プロジェクト（事業全体）

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	832,984	【 流 動 負 債 】	189,945
現 金 及 び 預 金	532,984	未 払 金	179,592
未 収 入 金	300,000	預 り 金	10,353
		負債の部合計	189,945
		正 味 財 産 の 部	
		科 目	金 額
		【 一 般 正 味 財 産 】	643,039
		前 期 正 味 財 産	1,151,951
		当 期 正 味 財 産 増 加 額	-508,912
		正 味 財 産 合 計	643,039
資 産 合 計	832,984	負債・正味財産合計	832,984

(普通法人 2017年4月1日から10月17日まで)

Spec 2.1

## 損 益 計 算 書

( 1 ページ目 )

企業名 一般社団法人清水沢プロジェクト

自 2017 年 04 月 01 日 から  
至 2017 年 10 月 17 日 まで

科 目	金 額	単 位
【売上高】		円
【売上原価】		
当期商品仕入高	30,142	
【売上総利益】		1,239,695
【販売費及び一般管理費】		
広告宣伝費	35,720	
役員報酬	695,575	
給料手当	20,630	
福利厚生費	100	
交際費	60,102	
旅費	31,403	
通信費	101,171	
光熱費	189,005	
消耗品費	122,251	
租税公課	41,800	
保険料	6,468	
法定福利費	64,586	
外注費	274,320	
支払手数料	97,940	
会議費	14,744	
諸会費	1,000	
図書費	18,558	
雑費	3,120	
【営業利益】		▲568,940
【営業外収益】		
受取利息	7	
雑収入	200	
営業外収益合計		207
【経常利益】		▲568,733
【税引前当期純利益】		▲568,733
【法人税、住民税及び事業税】	40,000	
【当期純利益】		▲608,733

【凡例】 この表示はシステムで付与しました。お客さまから送付された情報には含まれていません。  
 ※ : 科目名見切れ (別表「補足情報」参照)  
 ★ : 国税庁標準科目に対する拡張科目  
 ◆ : 科目名書換え

電子申告の達人 NTTデータ

非営利型法人（2018年10月18日から2019年3月31日まで）

<b>正味財産増減計算書（収益事業）</b>		
（自 平成29年10月18日 至 平成30年3月31日）		
（単位：円）		
科 目	金 額	
<b>経常増減の部</b>		
<b>経常収益</b>		
正会員受取会費	0	
一般会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	
受取寄附金	0	
受取助成金	0	
売上高	233,410	
雑収入	0	
受取利息収入	0	
<b>経常収益計</b>		<b>233,410</b>
<b>経常費用</b>		
役員報酬	157,835	
法定福利費	17,967	
荷造運賃	2,070	
広告宣伝費	1,917	
交際費	5,772	
会議費	5,480	
旅費交通費	3,190	
通信費	16,211	
消耗品費	24,870	
水道光熱費	59,190	
新聞図書費	4,664	
支払手数料	45,015	
車両費	10,549	
保険料	454	
支払報酬料	29,654	
<b>経常費用計</b>		<b>384,839</b>
法人税、住民税及び事業税		0
<b>当期正味財産増減額</b>		<b>△151,429</b>
<b>前期繰越正味財産額</b>		<b>1,151,951</b>
<b>次期繰越正味財産額</b>		<b>1,000,522</b>



## 正味財産増減計算書（非営利事業）

（自 平成29年10月18日 至 平成30年3月31日）

（単位：円）

科 目	金 額	
経常増減の部		
経常収益		
正会員受取会費	40,336	
一般会員受取会費	12,202	
賛助会員受取会費	10,000	
受取寄附金	4,355	
受取助成金	300,000	
売上高	272,480	
雑収入	19,800	
受取利息収入	5	
経常収益計		659,178
経常費用		
役員報酬	445,740	
法定福利費	50,741	
荷造運賃	0	
広告宣伝費	8,480	
交際費	17,439	
会議費	8,020	
旅費交通費	9,010	
通信費	66,641	
消耗品費	84,283	
水道光熱費	167,158	
新聞図書費	13,172	
支払手数料	16,679	
車両費	29,792	
保険料	1,284	
支払報酬料	98,223	
経常費用計		1,016,661
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		△357,483
前期繰越正味財産額		0
次期繰越正味財産額		△357,483

参考：正味財産増減計算書（2017年度合計）

科目	金額		備考
<b>経常増減の部</b>			
<b>経常収益</b>			
正会員受取会費	90,336		
一般会員受取会費	33,202		
賛助会員受取会費	10,000		
受取寄附金	18,752		
受取助成金	800,000		
売上高	1,149,188		
受取利息	12		
雑収入	20,000		
<b>経常収益計</b>		2,121,490	
売上原価	30,142		
<b>売上総損益金額</b>		2,091,348	
<b>経常費用</b>			
役員報酬	1,299,150		
給料手当	20,630		村上役員就任前
法定福利費	133,294		
福利厚生費	100		
外注費	274,320		小林直樹ホームページ作成・各種撮影ほか
荷造運賃	2,070		
広告宣伝費	46,117		
交際費	83,313		
会議費	28,244		
旅費交通費	43,603		
通信費	184,023		
消耗品費	231,404		
水道光熱費	415,353		
新聞図書費	36,394		
諸会費	1,000		
支払手数料	159,634		前期税理士報酬・諸経費的な支出
車両費	40,341		
保険料	8,206		
租税公課	81,800		登記変更・法人税（普通法人分）
支払報酬料	127,877		税理士・会計ソフト等
雑費	3,120		
<b>経常費用 計</b>		3,179,993	
<b>営業損益金額</b>		△ 1,088,645	
<b>当期正味財産増減額</b>		△ 1,117,645	
<b>前期繰越正味財産額</b>		1,760,684	
<b>次期繰越正味財産額</b>		643,039	

(単位 円)